【日経 TEST テストセンター試験の受験にあたっての注意事項】

日経 TEST テストセンター試験の受験にあたっては、以下の点に注意の上、受験を行ってください。なお、下記の事項により、受験することが出来なくなる等、受験者に損害が生じたとしても、主催者は一切その責任を負わないものとします。

●公正な試験を行い、不正を防止するため、受験中は、監視を行います。予めご了承ください。

●以下の事項に該当する場合は受験できません。

- 身分証明書の提示がない場合や条件を満たす身分証明書の提示がない場合
- 登録情報と身分証明書の氏名、生年月日が一致していない場合
- 定められた時刻までに試験が開始できない場合

●受験上の配慮が必要な方は事前に配慮申請をお願いします。

- ご病気などの止むを得ない事情により席を離れる必要がある場合、また、試験時間中に指定のお薬などを飲む必要がある場合は予め届け出てください。なお、これらの場合、診断書が必要になる場合があります。

●受験料の返金、申込のキャンセルはできません。

- 他の試験（全国一斉試験等）への変更はできません。
- 同一人物が複数のアカウントを持ち、複数の申し込みをすることはできません。
- 受験者は、受験日に日本国内に居住している方に限ります。

●次に掲げる事由が確認できた場合（事由の存在が疑われる行為が確認できた場合も含みます）は、失格となります。

禁止事項

① 本人以外による受験

- 受験者本人以外が受験した場合
- 規定の本人確認用身分証以外を提示した場合
- マスクやフェイスガードなどで、本人の顔が確認できない場合
- 受験登録者以外の者が受験した場合
- 受験中、受験者が入れ替わった場合
- 受験中に席を離れた場合
- 受験中、受験者本人の受験確認および不正行為の検証ができない場合

② カンニング等の不正行為

- カンニング行為
- サングラスなど、カメラから目を隠すようなものを着用した場合
- ヘッドフォン、イヤフォンを装着する、または疑われる行為を行った場合
- 受験中にマウスのクリックボタンまたはそれに該当するボタン以外に触れた場合
- 日経 TEST の公式サイトや、受験システム(Excert)を開いた Google Chrome 以外の Web サイト、アプリケーション、プログラム、ソフトウェアを起動や閲覧等した場合
- 受験中に他人に話しかけた場合（挨拶や短いやり取りなど内容に関わらず、他人に話しかけることは禁止）
- 受験中に携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合
- 受験者の目に触れる位置に、試験内容に関連する掲示物が貼付又は置いてあった場合

・ 受験中に飲食した場合
・ 受験中に喫煙した場合
・ その他、不正行為が行われていると疑われる行為を行った場合
・ ノートやペンなどの筆記用具を机の上など手の届く範囲に置いていた場合

③ 試験内容の保存および保存したとみなされる行為

・ テストの説明・問題にかかわる画面や内容を保存・印刷・配信する行為
・ キャプチャーやスクリーンショットをとる行為
・ 画面保存ソフトやアプリを使用して画面を保存する行為
・ ビデオやカメラ等で撮影する行為
・ メモを取る行為
・ 口述して録音する行為
・ 受験用 PC に外付けモニター配信用機材などの外部機器を付けている場合（マウスなどのポインティングデバイスは除く）
・ その他何らかの手段により保存・記録をしようとするすべての行為

④ 試験内容の漏洩および漏洩したとみなされる行為

・ テストの内容に関わるすべての情報を対象に、その一部でも、第三者に開示する行為
・ 紙・メモ・写真・動画・インターネット上のアプリケーションなどの媒体を通じて、第三者が閲覧可能な状態、もしくは内容を類推できる状態にすること
・ 口頭での発話・録音などを通じて、第三者が問題の内容を知りえる状態または類推できる状態にすること
（例：「日経 TEST を受験した」ことを SNS に書き込むのは構いませんが、「●●の問題は難しかった」など出題内容を類推させうる書き込みは禁止します。）

⑤ 複数のアカウントを作成する行為

同一人物が、複数のアカウントを持つことは禁止します。全国一斉試験とテストセンター試験は必ず同一アカウントを使って申込および受験してください。

⑥ 試験監督官の指示に従わない行為

⑦ その他、上記に準じる全ての行為

●その他

・ 試験中はいかなる理由においても試験時間を延長したり、一時的に止めたりすることはできません
・ 試験中にパソコン画面の状態を試験監督官が確認する場合があります。その際に費やした時間を試験時間に追加することはありません
・ 試験を途中で誤って終了、ブラウザを閉じる、電源が切れるなどで切断した場合はその時点で試験終了となり、再受験、再開はできません
・ 試験中は、問題文を読み上げるなどの音声を発することを禁止しています
・ 貴重品等の管理は受験者様ご自身でお願いします、盗難、紛失、破損等におきましてテストセンターならびに弊社では一切の責任を負いかねます

以上

2022 年 12 月 7 日

株式会社日本経済新聞社